

■ 第18回非開削技術講演会の開催

7月6日（火）、発明会館ホール（東京都港区）において第18回非開削技術講演会を開催しました。本年は、非開削技術の喫緊の課題である「推進機前方の障害物探査技術」と3月11日の「東日本大震災による被害状況報告」を主テーマとし、次の5題の講演を行いました。

- ①「小口径非開削工法における前方障害物探査」
- ②「小口径推進に用いる前方障害物探査技術」
- ③「推進機前方障害物探査への各種物理探査技術の適用性」
- ④「東日本大震災による水道施設の被害概要」
- ⑤「東日本大震災による下水道施設の被害概要」

参加者は180名に達し、講演者との活発な質疑応答も交わされて、盛況の中終了しました。なお、本講演会は、アイレック技建(株)様、(株)イセキ開発工機様の協賛で展示コーナーを開設しました。

■ 環境に優しい推進(HDD工法)技術講演会の開催

7月5日（火）、「大宮ソニックシティ」（埼玉県さいたま市）において、HDD工法の技術講演会を開催しました。参加者総数は約30名。講演会では、①施工手順の説明、②2011年度版HDD工法用「設計積算要領」「機械器具損料参考資料」「施工管理の手引き（案）」を用いた、設計・積算の考え方、積算事例、施工管理目標値などの説明、③HDD工法に多用されるポリエチレン管の材料仕様・規格等の説明がされました。

質疑応答では、工法採用上の具体的な課題についての意見交換が行われました。

■ JSTT各委員会活動

- (1) 機関誌（No-Dig Today）編集委員会、編集企画小委員会

【編集委員会】

7月8日（金）、第78回編集委員会を開催しました。機関誌第77号（本号）の構成、編集内容等について論議しました。

【編集企画小委員会】

7月8日（金）に第85回の、9月6日（火）に第86回の編集企画小委員会を開催しました。そ

れぞれの委員会で、機関誌第77号の本文の構成・記事執筆依頼者の選定・記事内容について論議、意見交換されました。また第86回では、今後の技術特集の充実を目指すため、各委員の編集業務への関与を強化することを確認しました。

- (2) 工法ナビゲーションシステム運営委員会

8月2日（火）、第37回工法ナビゲーションシステム運営委員会を開催しました。各技術ジャンルのトップページの検索科目の内容・並び方を再検討し、公的標準類の見直しに伴う工法ナビの表現や内容の変更、また現在特殊工法として一括りにしている「地下探査技術」「耐震化技術」を新技術ジャンルとして個別に取り出すこと等を論議しました。

- (3) HDD（誘導式水平ドリル）工法委員会

8月4日（木）、第47回HDD（誘導式水平ドリル）工法委員会を開催しました。「HDD工法技術講演会」の評価及び今後の取り組みについて論議しました。講演会などのPR活動は今後も継続的にを行い、広く工法の普及を図ることを結論とし、本年末までを目途に、ライフラインの被災が大きい東北地域での講演会を計画することとしました。

- (4) 地下探査技術委員会

8月30日（火）、第6回地下探査技術委員会を開催しました。活動の第一目的の地下探査技術マニュアル（案）の作成に向け、用語の定義と現在の汎用的なシーズとその用途について論議しました。マニュアル（案）の整理形式としては、用途（ニーズ）や要求される精度等の利用目的の面から、それに必要なシーズやシーズの組み合わせが提案できるものとすることを確認しました。

- (5) ソーシャルコスト検討委員会

8月1日（月）、第7回ソーシャルコスト検討委員会を開催しました。非開削工法のソーシャルコスト（外部コスト）軽減効果の算定のため、都市内の一定条件下での開削工法と非開削工法のコストを算出し、これに様々な要因のソーシャルコストを加算する手順で検討を進めることとしました。まずは、都内の代表的な道路の舗装断面や幅員、車線数等の条件を選定し、開削工法と非開削工法の工事費試算に着手しました。